

徳川園 四季めぐり



庭園は実りの秋。

ハクサンボク コムラサキシキブ
白山木や小紫式部も愛らしい実をつけます。

日本人は、移ろう季節の美をこよなく愛してきました。

色とりどりの紅葉が、秋の徳川園を華やかに彩ります。



フヨウ(スイフヨウ)【酔芙蓉】
9月下旬～10月中旬



ヒガンバナ【彼岸花】9月下旬～10月上旬
曼珠沙華(まんじゅしゃげ)とも呼ばれる多年草。毎年、ちょうど秋のお彼岸頃に赤色の花を咲かせるので、印象に残る花。中国原産の植物であり、古い時代に日本に持ち込まれた。



マルバシャリンバイ【丸葉車輪梅】
9月下旬～1月下旬



ミヤギノハギ【宮城野萩】8月下旬～10月上旬



ヤブラン【藪蘭】
7月中旬～10月上旬



コムラサキシキブ(実)【小紫式部】
9月中旬～1月下旬



カナメモチ【要躑】
11月上旬～12月下旬



センリョウ【千両】
10月下旬～12月下旬



タカノハススキ【鷹の羽薄】
9月中旬～9月下旬



チャノキ【茶の木】
10月中旬～11月上旬



ニシキギ【錦木】
11月上旬～12月下旬



ツツブキ【石菖】
10月中旬～12月下旬



ホトギス【杜鵑草】
9月上旬～11月下旬



ハクサンボク【白山木】
10月上旬～1月下旬



キンモクセイ【金木犀】10月上旬～10月中旬
江戸時代に中国から到来した。秋になると、小さいオレンジ色の花を無数に咲かせ、芳香を放つ。中国では丹桂と呼び、花を白ワインに漬けたり(桂花陳酒)、茶に入れる。

見頃の日は、年毎に多少違います。